

授業科目名	世界を知る B	担当教員	李 知映 井原 麗奈
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 3 クォーター		
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを①中世・近世の芸術支援、②帝国主義とその歴史、③近代の検閲制度の大きく三つに分け、それぞれのテーマで、政治と芸術文化や観光との関係について講義を進める。 ・内容に応じて適宜、映像資料を使用し、より深い理解につなげる。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの国々の歴史的背景やイデオロギーについて知り、視点を獲得した上で、それらを自分の言葉で説明できる。 ・現在の世界情勢や動向を歴史・イデオロギーを軸に見た場合、日本の将来について客観的、多面的な視点から語ることができる。 		
授業計画	<p>① 中世・近世の芸術支援</p> <p>1 (10/2) : アニメーション『犬王』から見る中世の表現者・支配者との関係性、及びその時代</p> <p>2 (10/9) : 東洋・西洋の中世～近世の王権とパトロネージ</p> <p>②-1 帝国主義とその時代：文化財</p> <p>3 (10/16) : 西洋と東洋における帝国主義</p> <p>4 (10/23) : 近代文化遺産の歴史性と観光まちづくり</p> <p>5 (10/30) : 未返還文化財～ボストン美術館、朝鮮王朝儀軌 等</p> <p>②-2 帝国主義とその時代：表現者</p> <p>6 (11/6) : 映画『さらば我が愛 霸王別姫』から見る文化大革命</p> <p>7 (11/13) : 半島の舞姫「崔承喜」の芸術世界</p> <p>8 (11/20) : 「李香蘭」を生きた山口淑子</p> <p>③ 近代の検閲制度</p> <p>9 (11/27) : 演劇『笑の大学』から見る近代日本における検閲</p> <p>10 (12/4) : 植民地朝鮮における検閲制度と表現者の反応</p> <p>11 (12/11) : 表現の自由について</p> <p>12 (12/18) : 総括</p>		
事前・事後学習	毎回の授業のテーマに関連する新聞記事や書籍などの情報を収集し、目を通しておく。		
テキスト	教科書は使用せず、資料を配信（配布）する。		
参考文献	授業時に適宜紹介する。		
成績評価の基準	授業への参加度（40%）と期末テスト（60%）で評価する。		

履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超過した場合は成績（直近の累計 GPA）をもとに選抜する。 ・「授業計画」は状況や進度に応じて変更する可能性がある。 ・試験日に欠席した場合でも、別途対応しない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	2025年カリキュラム：2025年度以降の入学生のみ履修可 R 8～